

令和4年第10回田原市教育委員会定例会

- 1 開会 令和4年10月21日 午後3時30分
- 2 閉会 令和4年10月21日 午後4時15分
- 3 会議に出席した委員
鈴木欽也教育長、金田真也委員教育長職務代理者、太田孝雄委員
高崎佐智江委員、田中早苗委員
- 4 会議に欠席した委員
- 5 会議に出席した職員
教育部長 増山禎之
教育総務課長 大羽浩和
学校教育課長 近藤智彦
生涯学習課長 藤井 透
スポーツ課主事補（課長代理） 山田大輔
文化財課長 天野敏規
中央図書館長 是住久美子
教育総務課長補佐兼教育総務係長 木村真一
- 6 議事日程
別紙のとおり

田原市教育委員会第10回定例会議事日程

日 時 令和4年10月21日（金）

午後3時30分

場 所 北庁舎2階 200会議室

1 会議録署名者の指名

2 教育長報告事項

3 議 題

- (1) 令和5年度教職員定期人事異動方針について

4 報告事項

- (1) 教育委員連絡報告事項
- (2) 図書館への寄附について

5 その他

開 会 午後1時30分

教育長

本日は、御多用のところ御出席くださりましてありがとうございます。
す。

それでは会を始めさせていただきます。

ただいまの出席者は、5名であります。定足数に達しておりますので、令和4年田原市教育委員会第10回定例会は成立いたしました。

これより開会いたします。

教育長

それでは、会議規則第13条第2項の規定により、会議録署名者の指名をさせていただきます。今回の署名者として、高崎委員と田中委員の御両名を指名させていただきますのでよろしくお願ひします。

教育長

それでは、議題に先立ち教育長報告を私からさせていただきます。

本日の資料の表紙をおめくりいただいて2枚目をご覧ください。教育委員会報告、教育長メモというページでございます。

いつものように前回9月30日の定例会から本日までに関係したところをここに挙げさせていただきます。

コロナはまだ収束とはなってないですが、大分状況が変わってきて、様々な行事やイベントがコロナ前に近い形で実施されてくるようになったかなと、そこに載せさせていただいているものについても、以前は中止とか書面開催というのが多かったですが、本来の形で行われているものが割と多かったかなと思っております。

それではいくつか抜き出して報告させていただきます。

10月3日、田原市教育委員辞令交付式ということで新教育委員の田中さんに市長から辞令が渡され、スタートを切っていただいたということでございます。これから4年間ぜひよろしくお願ひしたいと思ひます。

それから同じ日から学校訪問、田原東部小学校がありますが、いくつか学校訪問が入っております。

10月5日の衣笠小学校、12日の清田小学校、14日の伊良湖岬小学校、17日の東部中学校、18日の野田小学校、昨日20日が赤羽根小学校と、結構、今、学校訪問がたくさん入っている時期でございます、充実した時間を過ごさせていただいております。

9月は、小中学生のコロナ感染者が結構多くて、学級閉鎖などもあちこちの学校であったわけですが、現在はだいぶ収まった状況になっております。おかげで落ち着いた状態で教育活動が行われているかなというように感じております。

もともと学校現場では、10月というのは1年のうちでも最も充実した教育活動が行える、落ち着いてじっくりと学習に取り組める、子どもたちにとっても、学校にとってもそのような期間かなというように

私は捉えております。

訪問させていただいたどの学校も教育目標の具現化に向けて、また、それぞれ課題の克服に向けて、じっくりと授業に取り組んでいる様子を参観することができました。各学校には、ふるさと教育の推進とともに、主体的対話的で深い学びの実現ということと、ICTの効果的な活用ということをお願いしているところでもあります。

多忙化解消であったり、働き方改革に取り組む中で、その中でも各校でそれぞれに取組を工夫して実践を重ねているところがございます。

ICT教育、タブレットの活用については、昨年から今年にかけてずっと見てきて、着実に進化しているなということを感じております。特にその点に関しては、10月14日に訪問しました伊良湖岬小学校がとても先進的な取組をしているということで印象に残りました。様々な授業の中で多くの先生方が日常的に使っている、子どもたちが使うことに非常に慣れているという状況を見ることができました。

それから、ただ使いこなすということではなくて、今、どの学校もそうですが、使うことの先にある教育的な効果を高めること、伊良湖岬小学校に行くと、深い学びの実現をいかに目指すか、タブレットの活用をそこでどう生かしていくか、そういったことに主観を置いて取り組んでいるということがございます。

伊良湖岬小学校は、今田原市教育委員会からの研究指定を受けていて、今年で2年目でございます。来年の今ぐらいの時期に研究発表会をするということで、市内外にとってもよい発表、提案をしてもらえるのではないかなという期待しているところがございます。

そのほかのことについて報告させていただきます。

先ほど、最初に申し上げましたコロナ禍でなかなかできていなかったイベントというのが久しぶりに通常の形で開催できたということいくつもありました。10月9日の田原市スポーツギネス大会、それから10月13日の田原市学校保健会総会・研修会、それから10月15日の田原市消防団ポンプ操法大会、そういった様々な大きなイベントが何とか通常に近い形で行われて、本来の形に戻りつつあるということで非常に喜んでいるところがございます。

私からの報告は以上とさせていただきます。

何か今の報告につきまして質問等がありましたら受けたいと思いますが、いかがでしょうか。

一つお願いします。

10月8日の小学校バスケットボール大会については、我々現場を見ることができなかったのですが、通常どおりに開催したのかどうかということと、それから今度音楽祭が行われるのですが、それはどういう形でやられるかということをお聞きしたいのですが、学校教育課長

太田委員

教育長
学校教育課長

でもいいかと思えますけど、よろしくをお願いします。

課長、代わりにお願いします。

バスケットボール大会は、本来ですと3会場で今までは行っていたと思うのですが、やはりコロナの関係で昨年から6会場、つまり1会場3校ずつで、午前、午後で男子、女子という形で開催をいたしました。観客については、基本入れない形をとっていたと思います。

大きなけが等なく、無事に行われたという報告は入っております。開催の仕方が例年とは違うということです。

それから音楽会につきましては、後ほどプログラムをお渡ししようと思っていたのですが、今は同じような形で午前、午後という形で開催を予定しております。

太田委員
学校教育課長

ということは、我々にも案内が来るとということですか。

ぜひ、行っていただきたいなというようには思っております。

また後ほど。

委員
教育長

分かりました。

時期がいつもは冬に行っていたと思うのですが、今は11月に学芸会があって、そこで練習したことをそのまま発表するというような形で、11月開催でしたかね。

学校教育課長
教育長

11月26日の土曜日になります。

今現在の予定では、小学校の部活動も今、大分変えていくということで、音楽会もバスケットボール大会も来年度で終わりという予定で進んでおります。小学校の部活動についても、今後、部活動として継続していくのか、あるいは業後の活動というような形で少し違う形のものとしてやっていくのか、あるいは地域や家庭のほうに子どもたちを帰していくのか、その辺りも今検討しているところでございます。

そのほか、御質問ありましたでしょうか。

では、ご質問もないようですので、教育長報告事項を終わります。

教育長

これより議題に入ります。

初めに、議案第20号「令和5年度教職員定期人事異動方針について」を議題といたします。

事務局の説明をお願いします。

学校教育課長

よろしくお願ひいたします

議案第20号 令和5年度教職員定期人事異動方針について、よろしくお願ひいたします。資料は、ホチキス止めの資料があるかと思ひます。よろしくお願ひいたします。

では、1枚おめくりください。

こちらが令和5年度田原市小中学校教職員定期人事異動方針になります。こちらにつきましては、その次のページにあります愛知県教育委員会の教職員定期人事異動方針を踏まえて基本方針を立てているも

教育長

のであります。この基本方針に基づいて、定期人事異動を実施していきます。愛知県の人事異動方針が若干文章が変更になったため、それに合わせて田原市の人事異動方針につきましても、変更を加えてあります。

よろしく願いいたします。

事務局の説明が終わりました。

御質問等ございますでしょうか。

御質問もないようですので、お諮りいたします。

議案第20号令和5年度教職員定期人事異動方針について、原案どおり可決することに御異議ございませんか。

教育委員

(異議なし)

教育長

では、ご異議ないようですので、議案第20号につきましては、原案どおり可決いたしました。

続いて、報告事項に入りたいと思います。

教育委員の皆様方の連絡、報告事項を順次お願いいたします。

金田委員からお願いいたします。

金田委員

自分自身、活動はしていませんけれども、企画部企画課より田原市男女共同参画推進プランⅡの中間見直しの資料をいただき、目を通させていただきましたので、その内容について若干報告させていただきます。

大きく全体的に時代の流れとともに修正されたところが全体的な文章の中で「男女」とうたっている項目を「誰も」という形に変えたということと、「女性」という言葉を「女性や性的少数者」という言葉に変えたということと、「性別に」と書いてあるところを「性に」と、この3点を大きくうたってあって、文章を一通り読んだときに、ちょっと変になるのかなと思ったのですが、そのようなこともなく読めたのがうまく言葉のニュアンスを変えてきたんだなという、そんなふうに感じさせていただきました。

また、教育委員会に関連することで大きく追加されたところは、学校教育課の関係ですけれども、学校における男女共同参画教育啓発の促進という項目で、1日のうち多くの時間を過ごす学校生活には子どもたちの意識形成に大きな影響を与えますということで、令和3年度の市民アンケート調査、男女平等意識を育てるために学校教育ではどのようなことに力を入れていくべきかという問いには、アンケートで多かった内容は生活指導や進路指導において男女の区別なく、能力を生かせるよう配慮するの割合が一番高かったと書かれておりました。次いで、異性を思いやる気持ちの大切さを教える、心の教育を充実させる、そして、男女ともに家事や育児、介護などについて学習する時間を設けるというように、新たに追加されたとおっしゃっていました。

また、企画課にこの辺を問い合わせたところ、学校教育課には、こ

教育長

太田委員

のような文言を追加させてもらうということで伝えてあるということを知ったときに、やはり今こういった部、課だけではなくて、縦のつながりだけでなく、横のつながりが伸びているというのを聞いてうれしく思いました。

自分からは以上です。

ありがとうございました。

続いて太田委員、お願いします。

私は、この1か月の間に学校訪問を2校させていただきました。

田原東部小学校と衣笠小学校です。2校共通して感じたことは、個々の児童や家庭への対応、特に特別支援だとかそういったものがよくできてきているというように思いました。

2点目は、先ほど教育長先生から話もありましたが、ICT、それから、英語道徳と新しい教育への対応が進んできている。

それから、ふるさと教育をはじめとして地域との連携もよくできている。それから新しい試みとして、部活動の参加希望制を2校とも導入してきているということで、それに対応するために教職員の方々の勤務の内容が大変多岐にわたってきている、また、勤務時間も多くなっているのではないかなということ、学校としての協働、協力して働くということがその根本に必要な感じました。特に、常勤の方もいますし、非常勤の方もたくさん見えるものですから、情報の共有化だとか人間関係だとか、その辺りを校長先生、教頭先生を中心に学校ともよく努力されているなというように思いました。

田原東部小学校では、私も15年前に勤務していたものですから思いが強くなる学校ですけれども、以前から校舎は大変老朽化していたのですが、長寿命化等の取組によって大変環境が整備されているなというように思いました。

それから、ふるさと学習については、以前からやっています菜の花エコプロジェクトだとか、ビオトープだとか、里山だとか、いろいろな作物の栽培だとか、ずっと15年前からの継続してやっているものがあるということが素晴らしいと思いました。

それからICTについては、学年が上がるにつれてとてもよく効果的に使われていると思いました。

それから衣笠小学校については、校長先生の学校経営方針がいろいろなところで教職員の方々、学校全体に浸透しているというように思いました。カラフル自立大作戦という、こういうキャッチコピーで「失敗いっぱい大歓迎 みんなと違ってOK 人の役に立つ喜びを知る子の育成」という、具体的な子どもの姿というようなことでキャッチコピーをつくって、いろいろなところでそれに取り組んでいると思いました。

私も以前、衣笠小学校に何度か訪問したことがあるのですけれども、

教育長

高崎委員

校長先生も大変学校がよくなってきたというように言われましたけれども、ずっと過去からの教職員の方々の工夫や努力があつて今の衣笠の姿があるというように思いました。それでも、いろいろ大変な家庭、子どもの方々が見えますので、個々の児童のきめ細かな対応等、継続して取り組んでみえました。

衣笠小学校で一番私が勉強になったなというのは、心理的安全性という言葉を経営案等随所で使っておりました。心理的安全性、考えや思いを安心して伝えられる、そういう集団や組織を作っていこうという、要は居心地のいいような、自分が自己表現できるような、チョイスできるような、そういう集団を目指しているというところが大変すばらしいなと思いました。

以上です。

ありがとうございました。

続いて、高崎委員お願いします。

私は、今週の月曜日、17日に東部中学校に学校訪問にお伺いさせていただきました。まず、全体とポイントに絞ってお話をさせていただきます。

全体的に若手の先生が多く、平均年齢がおそらく29歳というように伺っております。お若い先生ばかりだということで、とても活発でいらっしゃって、すばらしく思いました。これは、「ハッピーとスマイル」、この二つを使ったお子さんへの指針、それから先生方も今年に入りこのハッピーとスマイルを使った目標をお持ちになって進められているということが根底にあると伺いました。

このハッピーとスマイルという言葉は、とてもいい言葉だなと思ひまして、こういったことをお子さんに繰り返すことによって、先生に繰り返すことによって潜在的に思われて、それが将来につながっていく、とても快活にしていかれるのではないかなということを感じさせていただきました。そして、この裏には、私が思いましたのはこうしてのびのび自由にできるということは、ひとえに管理職の先生方のお力だと感じております。子どもがお世話になった頃、親として拝見すると厳しいなと思われた先生が10年経ち、そしてまた今度は先生方の育成に回られ、だんだんと年輪というようなものを感じさせていただきました。

次に、ポイントを絞ってお話をさせていただきます。

皆さん、頑張っていらっしゃる若手の先生方が多かったのですが、特に先ほどから皆さんおっしゃっていますように、ICTを効果的に活用されているように感じました。理科の実験では、実際の煮干しを使い、そして画面で見て、最後ピンセットを使い、目とそして実物と体験をすることによって、これはとてもお子さんの成長を促すのではないかなということを感じさせていただきました。ただ、私のこれは

主観であります。こうしたことで私、以前、辰巳芳子さんという食育の専門家のことを少し学ばせていただいたことがあるのですけれども、こうしたせつかくです。煮干しを使ったときに、先生がそういった予備知識がおありになると、もっともっと豊かな教育につながるのではないかなということを感じてしまうと思いましたが、これは私の主観でございます。

そして美術では、ICTを使い細部にデッサン、こういったことは見ただけではわからないので、画面を広げてどういった線の使い方をしているとか、そういったことは本当に今までにはあり得ない、すばらしいことだなど、これで美術への関心が広がっていくお子さんが増えるといいなということを感じました。

そして最後に、体育で新しい競技でありましたけれども、競技をされた後、ICTを使って自分の思ったことをインプットし、その積み上げによってまた、これが論理的な思考になっていくのではないかなということを感じさせていただきました。

先ほど、太田先生もおっしゃいましたけれども、衣笠小学校の中で最終的に人の役に立つ子の育成とおっしゃっていましたが、このハッピーとスマイルを用いて、その次にはどういった目標を追った後には、どういった子になるのか、そういったことがお子さんの中に浸透されると、もっともっとすてきになるのではないかなということを感じさせていただきました。

あと、最後になります。

部活動が地域移行されるに当たり、先生方の負担も少なくなっていくかと思えます。ですので、個人的な楽しみを持って、先生方がもっともっと豊かになられて、お子さん方にその豊かさが浸透されていくと田原市のお子さんはもっとすてきになれるのではないかなという期待を持たせていただいた学校訪問になりました。

以上です。

ありがとうございました。

最後に田中委員、よろしく申し上げます。

18日に野田小学校を訪問させていただきました。

2022年のキャッチフレーズは、「もっと広げよう思いやりの心 みんなでつくる楽しい学校」のとおり校舎が新しく明るくひし形にデザインされた窓など、とてもすてきな校舎でした。2階に図書館があって、貸出しカードがバーコード管理であったり、先進的だなと感じました。

ジェンダーレスに配慮してあり、児童を呼ぶときに誰々君、ちゃん、ではなくて何々さんと呼びかけたり、混合名簿であったり、男子トイレが全室個室であったり、時代に合わせて過ごしやすそうでした。

先生方の多忙解消に努めており、日々の気づきや記録を指導に生かす見つめるノートというものを活用し、月に1回、健やか会議という

教育長

田中委員

もので共有し、児童一人一人について考え、かつ教員の負担にならないように考えられていました。

昨年の研究発表から野田っ子ポイントを引き続き活用し、取り組んでおられました。また、思いやりや元気があるなど、野田っ子のよいところを伸ばせるふるさと学習や地域の力を借りて努力されてきました。

令和6年度以降の部活動に代わる活動をいろいろ考えられているようで、先生方や校長先生がとても温かく、きっと児童にとっても教員にとってもよい活動をされると思います。

以上です。

教育長

ありがとうございました。

次に、報告事項（2）図書館への寄附について、事務局から報告をお願いします。

図書館長

図書館です。

ホッチキス止めの令和4年度教育関係寄附一覧というA4横の資料をお願いします。

一番下の6番のところになります。令和4年10月1日に寄附者は、田原パシフィックロータリークラブ様より、子どもの読書環境充実のためとして、ブックスタート用バッグ460個の寄附を受けました。金額にしますと28万5,200円ほどになります。

1枚めくっていただきますと、写真がございまして10月1日のブックスタートバッグの贈呈式の様子とそれから下にそのバッグの写真となります。

ブックスタートというのは、4か月検診のときに図書館の職員とボランティアがペアになっていきまして、絵本のプレゼントをしながら本のある豊かな時間を保護者の皆さんと赤ちゃんに知っていただくということで行っておりまして、そのときに絵本と一緒にバッグをプレゼントしていくものになるのですが、今回田原パシフィックロータリークラブさんからの御希望ということで、会の名前を入れさせていただきますまして、1年間このバッグを使わせていただく予定となっております。

以上です。

教育長

ただいま事務局の報告がありました。

御質問等ございますでしょうか。

御質問もないようですので、以上で報告事項を終わります。

教育長

次に、その他ですが、事務局から何かございますか。

教育総務課長

最初に、次回の定例会日程のをお願いしたいと思います。この次に資料がつけてあったかと思いますが、教育委員出席日程（案）をお願いします。

教育長

生涯学習課長

次の11月の第11回定例会を11月11日の金曜日に行いたいと思いますのでご予定をお願いしたいと思います。

そのほか、一番下の表、教育委員会の関係イベントということで、渥美図書館まつりから始まりまして、裏面の12月末までそれぞれございますので御参照いただければと思います。

私からは以上でございます。

ただいまの説明につきまして、何か御質問等ございますでしょうか。

では、それ以外に資料がありますが、生涯学習課からお願いします。

色目のいいカラー写真のチラシをお願いします。こちらのコンサートですが、北川千紗さんという素晴らしいアーティストが来てくれます。どれだけ素晴らしい人かという、日本音楽コンクールというのが毎日新聞とNHK主催で行われていまして、もうかれこれ90回、今年91回目になるのかな、そのバイオリンの部で一番になった方です。こちらの方が今回田原に来て、お得な1,000円ということで演奏していただけるので、皆さんで気楽に来られる田原文化会館で一流のアーティストの音楽を聴いてもらって楽しんでいただければというものでございます。普通だったら多分1,000円では見られません。多分、ホームページを見ると3,000円とか4,000円ぐらいの価値のある方がいらっしゃいますので、12月10日、ぜひよろしくをお願いします。

以上です。

教育長

スポーツ課主事(課長代理)

続いて、スポーツ課、駅伝の関係でお願いします。

委員の皆さんのほうにこの冊子を配らせていただいて、A3のものがついている資料です。

11月13日日曜日、9時から中部北陸実業団駅伝対抗競争大会ということで、今回、中部9チーム、北陸3チーム、オープン参加が3チーム、大学生が2チーム、計17チームでレースを展開する形になります。当日、様々な当日の規制がありますけれども、御協力をお願いしますということで、今、いろいろなところに説明で回っているところでございます。

以上です。

教育長

文化財課長

続きまして、文化財課をお願いします。

文化財課です。

配布物がたくさん入っております。

現在、田原市の博物館におきまして、「海から広がる渥美半島展」を開催しております。期間は11月27日までになりまして、お手元の少し厚い冊子が今回の展覧会の付録になります。盛りだくさんで43ページに収めたものであります。

それからこちらの小さいリーフレット、これは子ども用に作ったリーフレットになりますので、子どもさんが来られたらこれを渡して、少し付録よりも優しく書いたつもりです。

教育長

この展覧会には、様々なイベントを開催中でありまして、もう既に終了したのものもあるのですが、現在も海のスタンプラリー、二つ折りのリーフレットがありますけれども、海に関連する施設を巡って、スタンプを集めていただくと海の恵みを得られる賞品が当たるというものがありますので、ぜひ参加していただくと、それほど難易度の高いスタンプラリーではありませんので、よろしくをお願いします。

それからもう1種類、これは企画展関係ではないですけれども、道の駅めっくんはうすさんと実行委員会を作りながら、これは文化庁の補助をいただきながら行っているものですが、道の駅と文化財と連携したスタンプラリーになりますので、こちらも賞品が当たるというものになりまして、こちらもそれほど難易度が高くない、3か所行けば応募できるというものになりますので、こちらのほうもやっただけだと思います。博物館には、こちらの応募用紙を入れられるポストが設置してありますので、わざわざ送らなくても博物館に入館していただければ、こちらでポストに入れていただくことができますので、よろしくをお願いします。

以上です。

資料はそれだけですかね。

今、各課から説明がありましたけど、何か御質問がありましたらどうぞ。

よろしかったでしょうか。

その他、事務局のほうから何か、連絡、報告等ありましたらお願いします。よろしいでしょうかね。

ほかに、委員さんのほうから何かございましたらお願いします。

金田委員

1点よろしいでしょうか。

教育長のこのあいさつの中で、様々な行事やイベントがコロナ前に戻ってきた、いろいろ制限のある中、戻ってきたとおっしゃっていただんですけども、今後学級閉鎖とか、今のところないですけど、どのようになって決まっていくのか、見通しというのはあるのでしょうか。

教育長

閉鎖の基準のようなもの。

金田委員

そうです。

教育長

課長、何かその辺のところ。

学校教育課長

その基準は、今のところ出しているのは、クラスで複数陽性者が出たらとか、細かな数字はあるんですけども、あくまでもそれが原則になっているものでありまして、それは今後も何か指示があるまで変わらないです。人数は特に何人だったらという決まりにはなっていません。

金田委員

そうなんですね。分かりました。

学校教育課長

状況によってということですが。

教育長

教育委員会とも学校が相談をかけてくれて、ちょっと広がってきそ

うだとか、あるいは何人かいるんだけれども、それぞれ別個にかかっていて広がりはなさそうだという、またちょっと状況も違うものから、相談させていただいて閉鎖にしたり、そのままであったり、やっております。

金田委員
教育長

分かりました。

コロナ自体が、扱いが今後、変わってくるようであればまたなんですけど、ちょっとその情報は今のところないですね。

学校教育課長

今のところは、今までと変わるということは聞いていないので、その状況によって、そのクラスの中で関連性がありそうな場合は学級閉鎖にしますが、何人か出ていてもそれぞれ家族で感染していて、関連性がないということであれば、人数が同じ人数であっても学級閉鎖はしない、その子たちの様子で広がる可能性がある場合には、学級閉鎖にするということをやっております。

金田委員
教育長

分かりました。

そのほかよろしかったでしょうか。委員の皆さんからもよろしかったでしょうか。

では、特にないようですので、以上で本日の議事は全て終了いたしました。

御協力ありがとうございました。

これをもちまして、田原市教育委員会第10回定例会を閉会とさせていただきます。

閉 会 午後 4 時15分

教育長

委員

委員

|